

北海道教区報

第568号

発行所

天理教北海道教務支庁

札幌市中央区南8条西11丁目

電話 011(561)-1148

FAX 011(561)-1150

tenrikyo-hk@gmail.com

印刷

三浦印刷株式会社

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族、関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、医療機関や行政機関の方々など、感染拡大防止に目々ご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

おちばでは教会長や信者さんの本部月次祭の参拝を控える事になり、私達は初めての経験をしておりますが、今世界中で見せ頂いているこの節の親心を、懸命に思案されている事と思えます。

改めて親神様のご守護に深く感謝して、親の思いに少しでも近づかせて頂くよう教祖よりお教え下さっている御教えを素直に実行して、ちばへ真実なる心を持ち、おつとめを真剣につとめ、ひのきしんに励み、今こそようぼくが世界たすけに向け、心明るく一手一つで通らせて頂きましよう。

天理教北海道教区

教区長 西垣定洋



世界の混乱は留まるどころを知らず、お道も同様に多大なる影響を受けています。今は一日も早い終息をいり、すべての周囲の方々と共に心と力を合わせて通る時かと思えます。又お互いが行き来のにくい現状に困惑されていると思えます。信者さんや地域の教友に対して、電話や手紙、メールやSNS、会報などによって心を繋ぐ丹精を心がけたいものです。

4ページには新しい動きもご紹介しておりますが、この教区報も活用して頂ければと思えます。

教区報編集部

4月18日教祖誕生祭は、境内地閉鎖の中執り行われた。(立教183年4月15日撮影)

北海道教区のホームページ〈<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>〉教区報がご覧頂けます。

世界中の人間は一つの家族です。

“優しい心”でつながり合って、

困難を乗り越えていきましょ。

いまや新型コロナウイルスは世界中へ広がり、いっどこで感染するか分からない状況になっています。国内では、感染予防に対応した「新しい生活様式」への変化が求められていますが、それだけでなく、私たちの心のありようも変えていく必要があるでしょう。

マスクをつけ、人との距離を取る、手洗いを励行するなどの対策を継続して、再びウイルス

感染を広げないようにするためには、何よりも人と人がお互いに思いやり、共にたすけ合っていく「優しい心」が欠かせません。

社会的距離を取っても、心の距離は決して遠ざけない。むしろ心の距離がより一層近づくように、周囲の人を思いやり、温かい言葉をかけ合うことが、コロナ禍を終息へ向かわせる鍵になると私たちは考えています。

教会月次祭のおつとめについて

○月次祭のおつとめは、おつとめ奉仕者、参拝者、周辺地域の人々の安全・安心によく配慮して勤めてください。

(例)

- ・ 講話や直会をやめるなど、おつとめ以外の時間の短縮
- ・ 高齢者や感染リスクの高い人、不安を感じる人の参拝をお控えいただく
- ・ 消毒、手洗いやマスク着用

含む咳エチケットなどの衛生管理を徹底する
・ 換気を十分に行う

○ようばく・信者の方には、それぞれに日々おつとめを勤めて祈念することはもとより、ひのきしんの実践など、それぞれの暮らしの場において個人でできる信仰実践を心がけてください。

○月次祭や朝夕のおつとめはもとより、それぞれでおつとめを勤めるごとに、感染拡大の早期終息、罹患された方々の身上平

癒とともに、さまざまな困難に直面している方々の一日も早い平穏な日常への回復と、社会的・経済的な混乱の収まりを祈念しましょう。
天理教HPより抜粋

御本部の参拝について

●現在、教会本部神殿の礼拝場は南礼拝場のみが開放されています。

●東・西・北礼拝場は閉鎖。東西礼拝場の階下も閉鎖されており、神殿説教・おたすけは休止されています。

●朝つとめ夕つとめの時間のみ、全ての礼拝場をおつとめ30分前から神殿のおつとめ後まで開放されており、各礼拝場の正面基壇より昇殿できます。

●参拝者は周囲の方と間隔を十分に開けてご参拝ください。

●人の移動を最小限にするために教会長、ようばく、信者の方々には、おぢばへの帰参をお控え、各教会・布教所、自宅などから遙拝するよう要請されています。

※5月24日現在の情報です。今後とも状況は逐次変更されますので本部のHPをご参照下さい。

基礎講座北海道会場

6月28日網走会場・7月5日教務支庁会場・7月19日むかわ会場は、開催を中止することになりました。その後の予定会場は考慮中です。後日お知らせします。

【本部の動き】

●6月期の修養科生、5月27日開講の教人資格講習会、教会長資格検定講習会実施を見合わせ、6月5日からの三日講習会1についても休止となりました。

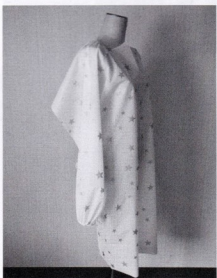
●立教183年こともおぢばがえりが中止となりました

●「学生生徒修養会・高校の部」が中止となりました。

真実のひのきしん活動に勇む

天理時報4月26日号に、札幌の統北分教会が医療用フェイスシールドを作成して、大阪府内の医療機関に贈られた記事が掲載されています。またマスクを手作りで配布するなど、各地で真実のひのきしん活動が、個人でまた教会でと展開されています。

そうした中、札幌の長沼分教会（千葉宏司会長）では医療現場用のエプロン防護服を手作り



頼が来ており、現在製作に追

過日、世界的に有名な物理学者アインシュタイン博士の生涯の行跡、業績についてテレビで放映されたのを見た。彼が最初に結婚した女性は同じ物理学者であったという。

彼は結婚して何年か経った頃から、あの有名な相対性理論をはじめ。次々とこの世の真理の理論を見い出して、またたく間に有名人となったようである。

ところがそうした頃から夫婦の間がうまくいかなくなり離婚をしてしまったという。このテレビでアインシュタインを紹介していたある評論家が、夫婦がうまくいかなくなったのは奥さんの学問に対する嫉妬から始まっている」と言われたのは少々驚いた。しかし反面、なるほどなと思つたものである。

普通夫婦とは一体であり、主人の功績が認められる事は夫人としてはこの上もなく我が喜びでもある。しかしこの夫人のように嫉妬するとは、夫婦一体の存在よりも同じ学者としての自尊心がより優先しているからであらう。

自尊心とは聞こえはよいが平たく言えば負けたくないのだから。私達はお互いに自分の身のまわりの人、仕事や共同体などの組織の中で負けたりと、よく聞かせて頂くのである。このよう

に嫉妬心は身近な人々の間で起きるのである。よくプライドが許さないとって威張っている人もあるがこれは高慢以外の何ものでもない。本来のプライドは、自分のしている事に価値を認め誇りをもって世のため人のために勇んでいる姿である。

教理随想 三十六

嫉妬心

木岡 昭

嫉妬心は、自己主張の強い人、負けず嫌いな人が強く持つ心で、もう一つ裏の顔には威張りたいたい、うぬぼれの強い心が見えてくる。

こう見てくると、私達の嫉妬心は理知的な頭脳とは関係のない心の問題だと気づかされる。そしてこの嫉妬心は誰もが生まれてもっている「いんねん」の一つであつて皆一様ではない。

そう思うと私達がそれぞれに幸せを得るためには、それぞれの「いんねん」をきりかえて心を育てていかねばならないのである。一時の感情に負けて私達人ひとりの人生の大局や本筋を台無しにしてはならないのである。

「人をたすけて我が身たすか」と端的に教えられているが、「いんねん」きりかえの道はこの教えを實踐する以外にはない。好き嫌いを越えて実践すると、必ずその者の心が育てられている事に気づかされるであらう。

この世は願ひ通りではなく、心通りに与えられてくるのである。

れています。生地は数多くの方々からの寄付、縫製お手伝いは、身近な教友の方々や、遠くはSNSを通じて手を上げて下さった愛知県の教友など多くのご協力のお陰で成り立っているそうです。生地は、雨ガッパのような材質。百円ショップのテンプルクロス(130cm×175cm)が丁度よいそうです。

(以上5月1日付号外より)

■5月1日付けで出した教区報告外(教区HP掲載参照)にフェリスシールド、マスク、防護ガウン等手作りで関係各所に寄贈されていることをご紹介しましたが、防護ガウンのその後。SNSを通じて生地の寄贈、縫製のひのきしんと広がりを見せ、これまでに生地の寄付は96枚、寄贈は9医療機関669着(5月20日現在)。引き続き縫製の問い合わせ、ガウンの依頼など、コロナ感染の終息を祈りつつ縫製作業続行中である。県に130着ものガウンを縫製寄贈をされた愛知の方々は知事から礼状が届き一層勇んでひのきしんに励んでおられるとか。他に兵庫の縫製スタッフはツイッターで出会った未信者の方

で、わざわざ道内の病院へ送られている。

また東京の助産院、道内の小児科等からは、使用されている様子が、礼状などでも多数来ているようです。

91歳のひのきしん

旭川支部・旭都分教会の前代会長夫人、藤崎和子さん、91歳は、ミシンが上手く使えるので、このときに、お世話になっている福祉施設や社会福祉協議会に、マスクを作つて送ろう、と
思い付き、布地やゴムを頂いたり、お手伝いを頂きながら、50枚を寄付して、大変喜ばれた。「私が今、出来ることで、みんなに喜んで頂き、私も元気を頂きました。」とにこやかな和子さんでした。



大きい北海道から 小さいマガジン！

■北海道教区青年会から会報が
発刊されました。教区・支部青
年会活動や様々な特集を毎月お
届け致します！

QRコードをスマホで読み取っ
て頂き、是非ご一読ください！



※アプリを取得せずともお読み
頂けます。

(qr_hks_kaiho.png)

“神さまのお話や各会の番組やコラム、 雑誌などをインターネットで視聴できます”

※天理教の公式ホームページで、新型コロナウイルスに関する、本部の取り組みについて
発表されています。行事の中止や延期など、大事な情報も逐次更新されております。

- 天理教布教部 「心♡陽気ぐらし」 <https://fukyo.tenrikyo.or.jp/>
布教部ホームページ内の「心♡陽気ぐらし」(バナー)をクリックして
各講師の動画を視聴できます。
- 養徳社 「陽気チャンネル」
<https://www.youtube.com/channel/UCeUdFdtIDxrRVRwWkTtffVw>
- 婦人会 エッセイなど読めます <https://tenrikyo-fujinkai.or/>
- 青年会 「千遍」
https://www.youtube.com/channel/UC88c_IfySNQZpXFkrRKIRaw?view_as=subscriber
- 少年会 「みちのこチャンネル」
<https://www.youtube.com/channel/UCxukbxvYc3f-5ajJb7QVW8Q>
- 学生会 「はっぴすと」 <https://happist.net/>

新会長さん紹介

(令和2年3月26日お運び)
網走支部



佐藤 元展 氏
(31歳)

下佐呂間分教会(津軽)
奉告祭 令和2年6月7日

(令和2年4月18日お運び)
十勝支部



吉田 一美 氏
(62歳)

十勝野分教会(小牧)
奉告祭 令和2年7月19日

(令和2年4月26日お運び)
網走支部



松木 睦 氏
(43歳)

斜里分教会(撫養)
奉告祭 令和2年6月28日

訃報

- ・瀧内義則様 3月16日 出直 (67歳)
豊平分教会長 (白豊支部)
- ・金輪ツヤ子様 3月17日 出直 (96歳)
正輪分教会 前会長 (俱知安支部)
- ・横山運造様 3月18日 出直 (81歳)
美理分教会長 (網走支部)
- ・網木年子様 3月30日 出直 (94歳)
誠綱分教会前会長夫人 (釧根支部)

北海道教務支庁日誌抄

2月23・24日 女子青年例会

26日 本部月次祭通拜式

29日 布教の家寮祭

3月 16日 布教の家寮祭 退寮式

20日 青年会例会

4月 26日 本部月次祭通拜式

2日 たすけ推進会議

記念祭実行委員会

4日 道の教職員

18日 教祖誕生祭通拜式

26日 本部月次祭通拜式

5月 1日 配布物発送

10日 会計監査

11日 各地方委員へ
決算会議資料発送

26日 本部月次祭通拜式

※(4月・5月)は、教区報を
休刊いたしました。5月1日号
外は教区HPでご覧頂けます。

編集後記

全世界的に、肺炎を起こすコ
ロナウイルスの拡散にうち震
え、学校から大半のお店まで閉
まって、2ヶ月も続いた緊急事
態宣言が25日に、やっと解除さ
れました。
しかし、コロナの危機と恐怖
心はなくなった訳ではなく、い
つになったら、安心しておちば
に航空機で帰れるのでしょうか。

御本部の催し物、行事が全て
なくなり、北海道教区も準じ
て、ストップしました。4・5
月の教区報は休刊し、北海道教
区のホームページで5月1日付
号外を載せ、最低限のお知らせ
をしました。僅かな動きの中で
も、新任教会長のお運びは途切
れず、紙面でない記録が残ら
ないとのご意見も頂き6月号の
発行になりました。
失う物ばかりでなく、コロナ
禍によって、ある教会では、子
供たちと毎日鳴り物の時間を作
り、座り勤めから12下りまで、太
鼓を出来るようになったと。さ
て、この世界的な窮乏生活で、あ
なたは何を得ましたか？